

# 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)



2020年10月29日

上場会社名 菊水電子工業株式会社  
 コード番号 6912 URL <http://www.kikusui.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 小林 一夫  
 (氏名) 齋藤 士郎  
 TEL 045-482-6912

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,498	15.8	62		37		17	
2020年3月期第2四半期	4,152	5.7	220	21.6	230	22.7	163	66.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 179百万円 (119.8%) 2020年3月期第2四半期 81百万円 (46.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	2.17	
2020年3月期第2四半期	19.78	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	11,276	9,519	84.4
2020年3月期	11,655	9,505	81.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 9,519百万円 2020年3月期 9,505百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		23.00	23.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	17.3	100	84.7	130	80.3	90	81.8	10.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	9,900,000 株	2020年3月期	9,900,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,590,493 株	2020年3月期	1,625,153 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	8,289,701 株	2020年3月期2Q	8,257,921 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算補足説明資料は、決算発表後、当社ホームページに記載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示) .....	10
(追加情報) .....	10
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、世界規模での新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の急激な停滞を背景に、企業収益や外出自粛等による個人消費が大幅に減少し、企業の生産や設備投資が抑制されるなど、景気の悪化が急速に進みました。その後、感染拡大防止策を講じつつ、社会経済活動レベルの引き上げと共に、一部で景気持ち直しの動きも見られますが、依然として予断を許さない状況が続いております。

また、海外経済においても景気が急減速し極めて厳しい状況となり、経済活動の制限緩和や経済対策等により景気持ち直しの動きはあるものの、一部の地域においては、再び経済活動の制限強化がなされるなど、先行きは不透明感が強いまま推移しております。

一方、当社グループが属する電気計測器業界においては、製造業における工場の操業一時休止、サプライチェーンの混乱及び物流の停滞、さらに世界的に需要が減少したことによる影響を受け、極めて厳しい状況にありました。

このような状況の中、当社グループは、重点市場である航空宇宙、電池、自動車のCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)、サーバー・ICT(情報通信技術)関連市場へ顧客ニーズに合わせたソリューション提案営業を積極的に展開するため、感染拡大防止に対応したオンライン商談等を進めてまいりましたが、取引先の設備投資の凍結、先送り等により大変厳しいものとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、34億9千8百万円(前年同期比15.8%減)となりました。

損益面におきましては、原価低減と経費節減に努力を重ねてまいりましたが、売上高の減収に伴う売上総利益の減少の影響が大きく、営業活動が制限されたことにより出張費等の販売費及び一般管理費が減少したものの、営業損失6千2百万円(前年同期は2億2千万円の営業利益)、経常損失3千7百万円(前年同期は2億3千万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失1千7百万円(前年同期は1億6千3百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

当社グループは、電気計測器等の製造、販売を行っているものであり、セグメントは単一であります。したがって、セグメントごとに経営成績の状況は開示しておりません。

なお、当社グループにおける営業品目の製品群別の売上の概況は、次のとおりであります。

## 《電子計測器群》

電子計測器群では、航空機用電子機器の測定器は低調に推移いたしました。また、安全関連試験機器は、耐電圧・絶縁抵抗試験用として電池関連市場に動きがありましたが、製造業における工場の操業一時休止等経済活動の停滞により需要が減少し、全般的に低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は7億7百万円(前年同期比24.8%減)となりました。

## 《電源機器群》

電源機器群では、直流電源は、宇宙産業市場、半導体関連市場及び5G(第5世代移動通信システム)関連の需要増加等によるICT関連市場への評価試験や装置駆動用電源として動きがありました。交流電源は、車載関連市場、ICT関連市場及び冷凍空調市場への評価試験や製造設備用として動きがありました。電子負荷装置は、車載関連市場及び電子部品市場への評価試験用として動きがありました。しかしながら、製造業における工場の操業一時休止等経済活動の停滞により需要が減少し、全般的に低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は26億3千6百万円(前年同期比13.8%減)となりました。

《サービス・部品等》

サービス・部品等につきましては、特記すべき事項はありません。

当該サービス・部品等の売上高は、1億5千4百万円(前年同期比1.2%増)となりました。

上記に含まれる海外市場の売上の概況は以下のとおりであります。

《海外市場》

米国では、宇宙産業市場への直流電源が好調に推移いたしました。

欧州では、経済活動の停滞の影響により低調に推移いたしました。

アジアにおいては、中国では米中貿易摩擦等の影響があったものの、電池関連市場への安全関連試験機器、サーバー・ICT関連市場への直流電源や交流電源が好調に推移いたしました。一方、韓国及び東南アジアにおいては経済活動の停滞の影響により低調に推移いたしました。

以上の結果、海外売上高は12億1百万円(前年同期比13.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間における総資産は、商品及び製品、原材料及び貯蔵品等のたな卸資産の増加並びに投資有価証券の期末時価の上昇等により増加したものの、売上高の減収や売上債権の回収等による受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ3億7千9百万円減少し、112億7千6百万円となりました。

負債は、投資有価証券の期末時価の上昇により繰延税金負債が増加したものの、未払法人税等の支払並びに賞与及び役員賞与の支給等による賞与引当金及び役員賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べ3億9千3百万円減少し、17億5千6百万円となりました。

純資産は、配当の実施による剰余金の減少及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により減少したものの、投資有価証券の期末時価の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加及び自己株式の処分による増加等により、前連結会計年度末に比べ1千4百万円増加し、95億1千9百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度の期末残高に比べ6千8百万円(2.8%)増加し、25億3千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、4億9千7百万円(前年同期2億5千万円)となりました。これは、売上債権の減少額12億2千1百万円等による資金の増加が、たな卸資産の増加額4億1千1百万円及び法人税等の支払額1億6千3百万円並びに未払金の減少額1億1千8百万円等による資金の減少を上回った結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、△2億3千7百万円(前年同期△1億7千9百万円)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1億3千4百万円及び投資有価証券の取得による支出8千5百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、△1億9千2百万円(前年同期△1億9千1百万円)となりました。これは、配当金の支払額1億9千1百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を合理的に算定することが困難であったことから未定としておりましたが、現時点において当社が入手可能な情報に基づき、業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

詳細につきましては、本日別途開示いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,534,551	2,603,983
受取手形及び売掛金	2,383,555	1,245,210
電子記録債権	309,250	225,860
有価証券	—	20,000
商品及び製品	580,668	763,566
仕掛品	424,456	520,715
原材料及び貯蔵品	636,600	771,560
その他	76,660	99,358
流動資産合計	6,945,743	6,250,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	651,626	626,070
土地	1,454,495	1,454,495
その他(純額)	461,860	456,825
有形固定資産合計	2,567,982	2,537,391
無形固定資産	136,617	131,361
投資その他の資産		
投資有価証券	1,155,175	1,491,182
その他	852,246	868,395
貸倒引当金	△2,015	△2,015
投資その他の資産合計	2,005,405	2,357,563
固定資産合計	4,710,005	5,026,315
資産合計	11,655,749	11,276,571
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	615,523	633,366
未払法人税等	192,519	37,072
賞与引当金	179,278	143,240
役員賞与引当金	34,000	—
製品保証引当金	8,760	16,191
その他	534,005	288,897
流動負債合計	1,564,087	1,118,768
固定負債		
役員退職慰労引当金	140	334
退職給付に係る負債	218,146	213,488
その他	367,680	424,212
固定負債合計	585,967	638,035
負債合計	2,150,055	1,756,803

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201,250	2,201,250
資本剰余金	2,760,151	2,768,158
利益剰余金	5,074,527	4,866,252
自己株式	△806,243	△789,051
株主資本合計	9,229,685	9,046,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304,771	493,638
為替換算調整勘定	2,806	5,948
退職給付に係る調整累計額	△31,569	△26,428
その他の包括利益累計額合計	276,008	473,158
純資産合計	9,505,694	9,519,767
負債純資産合計	11,655,749	11,276,571

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	4,152,463	3,498,215
売上原価	1,953,847	1,724,465
売上総利益	2,198,615	1,773,749
販売費及び一般管理費	1,977,798	1,836,737
営業利益又は営業損失(△)	220,817	△62,987
営業外収益		
受取利息	1,512	1,439
受取配当金	26,127	27,549
その他	10,006	14,557
営業外収益合計	37,646	43,546
営業外費用		
支払利息	1,339	1,283
売上割引	7,963	7,821
為替差損	17,221	7,116
その他	1,806	1,865
営業外費用合計	28,330	18,087
経常利益又は経常損失(△)	230,132	△37,529
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	230,132	△37,529
法人税等	66,762	△19,576
四半期純利益又は四半期純損失(△)	163,370	△17,953
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	163,370	△17,953

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	163,370	△17,953
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,390	188,866
為替換算調整勘定	△30,624	3,142
退職給付に係る調整額	△1,841	5,141
その他の包括利益合計	△81,856	197,150
四半期包括利益	81,513	179,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,513	179,197
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	230,132	△37,529
減価償却費	118,145	134,274
株式報酬費用	6,299	12,598
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,744	2,749
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9,176	194
賞与引当金の増減額(△は減少)	△68,723	△36,172
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△35,000	△34,000
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△5,885	7,431
受取利息及び受取配当金	△28,778	△29,739
支払利息	9,303	9,104
売上債権の増減額(△は増加)	486,396	1,221,098
たな卸資産の増減額(△は増加)	△95,283	△411,997
仕入債務の増減額(△は減少)	△121,818	17,531
保険積立金の増減額(△は増加)	△16,542	△16,542
未払金の増減額(△は減少)	△119,961	△118,938
未払消費税等の増減額(△は減少)	△54,843	△82,325
その他	△2,906	2,692
小計	286,612	640,429
利息及び配当金の受取額	29,462	30,368
利息の支払額	△10,614	△10,502
法人税等の支払額	△55,401	△163,003
営業活動によるキャッシュ・フロー	250,058	497,292
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△146,747	△134,676
無形固定資産の取得による支出	△29,440	△18,011
投資有価証券の取得による支出	△4,361	△85,059
その他	709	609
投資活動によるキャッシュ・フロー	△179,840	△237,137
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△1,788	△1,590
自己株式の取得による支出	△40	—
配当金の支払額	△189,692	△191,097
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191,521	△192,687
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,529	1,044
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△130,832	68,510
現金及び現金同等物の期首残高	2,206,974	2,464,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,076,141	2,532,797

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性に欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて

新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与えている事象であり、当感染症の収束時期やその影響の程度を合理的に予測することは現時点では困難なことから、当社グループでは外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、当連結会計年度中は当該影響が継続し、その後緩やかに回復するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等にかかる会計上の見積りを行っており、前連結会計年度末の仮定について、重要な変更は行っておりません。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化するなど、上記仮定に変化が生じた場合には、将来の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。